

同窓会報

2019年(令和元年)
12月発行
須知高等学校
同窓会



「ごあいさつ」

同窓会長
中西和之

日頃は、我が母校須知高等学校並びに同窓会の活動に深い御理解と温かい御支援をいただき、心からお礼申し上げます。

さて、明治九年に設立された京都府立農牧学校を前身にもつ、歴史も古き我が母校須知高校も、少子化が進む中で定員確保に極めて厳しい状況にあります。

こうした我が母校の現状の中で、令和2年度の入学者選抜からホッケー部生徒を全国から募集できることになりました。ホッケー部はもとより部活動の活性化と京丹波町のホッケー競技の発展につながることを期待しているところです。

こうした中で、会員の皆様方の御支援の下に現在須知高校では、今年度「フロンティアスピリット by J・A・ウィード」をテーマに掲げ、有為な人材の育成に教職員一丸となって努力いただいているところであります。

こうした御指導の下に、



「ごあいさつ」

校長
平田 茂

同窓会の会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本校の教育活動の推進に格別の御協力と御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本校の今年度の大きな取組としては、ホッケー部員の全国募集を始めたことです。ホッケー競技において他府県からも生徒が入学できるようにすることによって、生徒を確保するとともに、学校の活性化を図ろうと考えて実施することになりました。現在、近隣の中学校に出向きホッケー部や学校の説明を行うとともに、全国募集応援委員会を立

の府立学校として京丹波町から、京都府内では例を見ない教育振興交付金をいただき町当局、学校、同窓会、PTAからなる須知高校教育活性化推進協議会を設け、この交付金を生かし、生徒の資格取得、希望進路の実現及び部活動強化等に取り組みしているところであります。

更に、京丹波町主催の「食の祭典」と同時開催した「須高感謝祭」では、多くの来場者を得て、加工品・花の販売、農産物の収穫体験等、地域とともに歩む学校として取組を展開していただいたところであります。

こうした後輩の活躍する姿に接し、誇らしく思いますとともに元気をもらっています。

同窓会といたしましては、学校の取組を支え、生徒の活動を支援すべく本年度、卒業生に対して「証書ホルダー」の贈呈、部活動支援及び「同窓会報発行等」に取り組んでいます。

地元京丹波町を研究テーマにした「京丹波学」のスタートをはじめ、関西大学との連携による地域防災学を中心研究とした今年度の「探究ゼミ」の取組など「地域創生推進校」として4年目の指定となります。毎年新しいテーマ設定のもとで本校独自路線を歩んで参りました。地元へ貢献できる人材を育成するため、それがひいては生徒ひとりひとりの将来を見据えた取組になるよう教師集団一丸となって懸命に取り組んでいます。昨年にまして今年度の大学入試では地域にだけ密着し、変えられる存在になれるかが問われ、各大学のアドミッシンションポリシー(入学学生像)ではそのあたりを鮮明に打ち出している傾向が見て取れます。企業はもろろん、各種学校、大学も生き残り取組で人材確保に本気で取り組んでいる証なのでしょう。まさに本校は地元京丹波町や企業、大学等の外部機関とのつながりなくしては教育を前に進めることはできません。日本語検定協会主催の英検にも京丹波町からの助成をいただけて3年になりますが、府立学校でこのように取組は本校独自のものです。あらためて感謝申し上げます。



進路指導部だより

進路指導部長
田中 重則

さて、今年の進路をめぐる環境はこれまで経験したことのない、一言で言いますと激動という言葉で形容できる年だったように思われます。大学入試センター試験が今年で幕を下ろし、「大学入学共通テスト」がスタートします。昔の「共通一次試験」の響きを残しています。

「主眼的で深い学び」を問うテストとなり記述式問題も登場することになりました。深い授業内容や理解、社会で生きていく技能までもを尋ねる問題内容、アングラとなりそうですが、また英語民間試験の利用が決まっています。企業はもろろん、各種学校、大学も生き残り取組で人材確保に本気で取り組んでいる証なのでしょう。まさに本校は地元京丹波町や企業、大学等の外部機関とのつながりなくしては教育を前に進めることはできません。日本語検定協会主催の英検にも京丹波町からの助成をいただけて3年になりますが、府立学校でこのように取組は本校独自のものです。あらためて感謝申し上げます。

英語外部民間試験の内容についても生徒、保護者にとつては初めてのことでした。この丁寧な説明を心がけたところですが、英検の予約金の扱いに関してご不便をおかけしますが、検定協会のHPをご覧ください。適切な処理をお願いいたします。2020年度の大学入試改革の目玉は、共通テストに加え「調査書」の大幅な変更や活動報告書の導入です。東京オリンピック・パラリンピックが開催されるこの年、高校3年生はまさにこの入試制度改革の洗礼を受けることとなります。しかし、高校3年間の学業や部活動を始めたという学年で部活動を始めるという学内での諸活動、検定などの資格取得、ボランティア活動、留学など多面的に渡りますが、これまでペーパーテスト入試のみの評価から受験生の本来の等身大の姿を多角的に評価するシステムへ変えていくという試みです。本校で学んでいる授業、実習、探究学習、商品開発、高大産連携、資格取得、部活動、校外活動等をしつかり見てもらえる入試になるということなるとともに、グローバルな時代とともに生徒の在り方も変わっていくと考えています。さて最後になりますが、今

年の進路状況をお知らせします。まず就職ですが、民間就職希望者10名全員が内定を勝ち得ました。そのうち5名の生徒が地元京丹波町の企業に就職することが決まりました。専門学校は16名、短期大学が2名、また4年制大学については目下出願の最中ですが、推薦入試等でも12名(国公立大学2名、滋賀大・福知山公立大学2名、京都府立大学2名)が合格しています。就職については、2年次の2月に行いました、京丹波町との協同事業である「キャリアアップセミナー」に始まり、地元企業様10社との「インターンシップ」を通じての体験が生徒たちの早期の目標設定に大いに役立ちました。何よりも就職活動が固まってくることが大きかったと思います。京丹波町様ならびに地元企業様にはこのうえなく感謝申し上げます。とともに本校への今後ますますのサポートをいただければと思います。進学においては、4年制大学志向がうかがえます。また国公立大学をはじめ難関大学にチャレンジする生徒はこれらが本番です。大学入試センター試験(本年度11月受験予定)が待ち構えています。一般選抜での定員

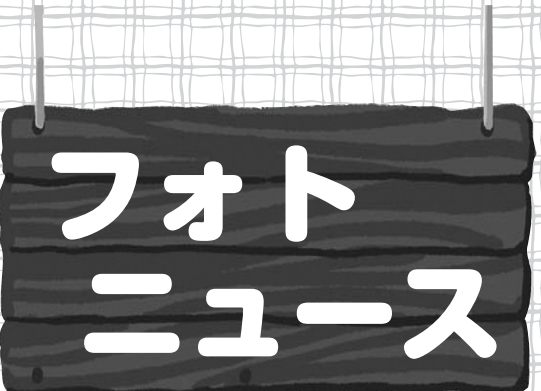
「須知高校教育活性化推進協議会」の活動について

少子・高齢化や人口減少傾向のなか、町内唯一の高校である須知高校の教育振興を図り、生徒の進路実現やまちづくりを担う人材の育成を目指して「須知高校教育活性化推進協議会」(平成28年8月発足)が中心となって、取り組みを進めています。

本協議会は、本校校長やPTA会長、同窓会長をはじめ町理事者町内小中学校代表等11名で構成され(今年度は10名、町からも町の将来を担う人材育成や生徒の進路開拓・夢の実現に向けたチャレンジ精神を高めようとして、本会に教育振興の支援金を交付いただいています。この教育振興交付金を生かし、資格取得、普通科の魅力化、中高連携の推進などに取り組む活動も積極的に進められ、食文化の推進や地元企業へのインターンシップなど、高校と町・地域とのつながりも深まっています。

今年度はホッケー部員の全国からの募集に向けて「須知高校ホッケー部全国募集応援委員会」を設置することになりました。この委員会は須知高校において、ホッケー部活動を行いながら、充実した高校生活を送ることができ、必要を全国から募集する活動を支援するため、必要環境整備を実施するとともに、須知高校ホッケー部が全国レベルで活躍できるよう京丹波町内の行政機関及びスポーツ団体並びに各学校の関係者等が連携・協力する組織として設立し、活動することを目的としています。

京都府農牧学校から140年以上、多くの人材を輩出してきた伝統校として、京丹波町とともに歩む須知高校を同窓会の立場からも支援していきます。(事務局記)



- 9月 フォトニュース
- 5月 森のぶるぶ (ヒノキの枝のノコ引き体験)
- 7月 第101回全国高校野球選手権京大会(入場行進)
- 8月 地域探究ゼミ (関西大学での防災学習)
- 9月 須高祭 (文化の部)
- 9月 須高祭 (体育の部)
- 10月 須高感謝祭 (野菜収穫体験)
- 11月 第2学年 研修旅行 (沖縄県)

須知高校先輩から

高校時代の経験を生かして



鳥取大学 農学部
生命環境農学科 1年
平成31年卒 東 麻衣

高校に入学する前、私は勉強がまわりよりは得意だったおかげでいろいろな選択肢があったと思います。周辺でも少し行けばいろいろな学校がありました。ですが、その当時の私の答えは最初から決まっていた。今の時世、勉強だけをして将来の役に立つのだろうか、この大切な数年間を実のあるものにするに

はどかが一番いいのか。それらの考えから私はこの須知高校の食品科学科に入ることにしたのです。
今、私は鳥取大学の農学部で農業について学んでいます。農業もすべて高校の時、食品科学科で仲間たちと農業を学んだ思い出があるからです。高校の時は様々な大会や研

3年間を振り返って



静岡大学 人文社会科学部
法学科 1年
平成31年卒 鈴木 隆之介

須知高校を卒業して今は全く違う環境で生活していますが、今でも須知高校での学習や経験が今の自身の生活につながっているなど感じることは多いです。
私は須知高校ではバスケットボール部に所属していましたが、部活は厳しかったですが、楽しい思い出がたくさんあります。

て私の高校生活の中心となっていました。そんな経験ができたからこそ大学でもバスケットボールを続けたいと思うことができました。だから大学でも部活ではありませんがサークル活動に参加しています。それが大学での新しい人間関係を築くきっかけとなり

高校生活を振り返って



住友理工エレクトロニクス株式会社勤務
平成31年卒 村山 元輝

今年の3月に須知高校を卒業し、社会人となってからもう少しで1年になります。まだそれほど時間は経っていないはずですが、学生の頃が今ではとても懐かしく思えます。そんな高校生活の中で、印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、部活動のことです。高校からバスケットボールを始めた初心者でしたが、キャプテンを任せられ、とても重圧を感じていました。一時

究班での取り組み、そのほか、学校を代表しての活動などたくさんあった。3年生の時には実際に6次産業をプロデュースしているベンチャー企業の社長さんが、数回に分かれ講義、また特別に専攻で作った新商品の試食とアドバイスをくださった。商品化で大切なことを身をもって教えてもらった。機会などもありました。私の将来の夢である6次産業化のプロデュースもそのときに見つけることができました。

これらの経験は人数が多い。ほかの高校や普通科では体験できないことであり貴重な体験です。食品科学科の強みはこの独自の教科を含めた学び

ました。また部活動を通して得た一生懸命取り組むことの大切さはこれからの大学生活や社会人になってからも役に立つていくものだと思います。

また高校生活の中で受験期間は特に多くの先生方にお世話になりました。本当に感謝しています。須知高校は生徒数が少ないので担当の先生方が生徒に合わせた指導を考えてくださり、丁寧に教えてくださることがとても印象的で覚えています。指導以外の面でも支えていただくことが多かったです。受験期間も終盤になり、ほかの生徒たちは進路を決定している、学習室を使うのが私一人になったときでも朝早くから学習室を開け、暖

乗ってくださいました。面接練習をはじめ、本当にたくさんのお世話になりました。就職活動の際、指導していただいた言葉づかいから動作一つに至るまで、たくさんのお世話になりました。指導をしてくださった先生方には本当に感謝しています。

現在は、仕事をする上で機械や電気に関する専門的な知識が必要になるため、勉強の毎日を送っています。そんな日々の中でも須知高校で学んだことが、僕自身を助けています。それらのことを忘れず、これからも頑張っていきたいと思っています。

の多さにあります。ほかのところに比べ勉強など時間は少ないですが、その分実践をふまえた勉強ができるので、大学進学に際しても推薦などで有利に働きました。また、人数が少ない関係で先生方の受験のサポートは厚く、私の時は国公立大学ということもあり、進路部長の先生や校長先生の直接指導や、教科の先生のサポートもあり、それらも大学合格の秘訣の一つとなりました。

私は今、大学で農学を学ぶ。かたわら農業ボランティア団体に加え、毎週、鳥取の高校に悩む農村の方のサポートで農作業や村祭りのサポートをしています。そこには、高校で学ばなかった知識や経験がたくさんあります。この新しい学びで、これからも農業について学び続け、夢をかなえたいと思います。

房をつけて勉強がしやすい環境を毎日のように整えてくださったことで、応援されているというのを感じることができ、とても力になりました。

これから進路を決めていく生徒の皆さんにも自分たちのことを真剣に考え、支えてくださる先生方がたくさんいらっしゃることはとても力になると思います。

最後に私は須知高校での生活を振り返って、須知高校の先生方や経験がなければ今の私はなかったと思います。だから大きな理由もなく入学した須知高校でしたが今は自分にとって最高の高校だったと思っています。

農業クラブ 第36回日本菊花 全国大会で表彰



(三本立て花壇の部)

令和元年度 開校記念講演会

希望は永遠に雲と高し!!
〜平凡な卒業生から
非凡な皆様へのメッセージ〜

講師
人事・労働コンサルタント
バンブー事務所代表
昭和43年卒 竹村卓郎氏



本校は昭和23年10月30日に京都府立須知高等学校が廃止され、翌日の昭和23年10月31日に京都府立須知高等学校が設置され、翌日11月1日に新制の高等学校として開校されたことにより、11月1日を本校の開校記念日に定めています。

この開校記念日である11月1日以前には、毎年、卒業生の方を講師に迎え、全校生徒・教職員を対象に開校記念講演会を実施しています。今年度は11月1日(金)の5・6時間目に第2体育館で生徒・教職員はもとより同窓会、PTA、京丹波町の皆様にも参加していただき盛大に開催されました。

講演会では、最初に竹村様から質美小学校入学から須知高校卒業後、関西学院大学へと進学されその後、第一勧業銀行(現在の「みずほ銀行」)・株式会社大昌電子での勤務を

須知高校ホッケー部 全国募集応援委員会を 設置

副校長 湯川 佳秀

本校は来年度の入学学生からホッケー部への入部を条件に全国募集することになりました。この全国募集については、□丹地域の府立高等学校学科改編案の一つであり、京都府教育委員会として初めての取組となります。本校としては、その準備等をするため、今年度の第1回須知高校教育活性化推進協議会において「須知高校ホッケー部全国募集応援委員会」を設置することが了承されました。10月4日(金)には第1回の会議を開催し、現状報告や今後の対応等について協議を行いました。同委員会は副校長を委員長に元校長をはじめ京丹波町内のホッケー関係者、ホッケー部生徒の保護者やホッケー部顧問など12人で構成しており、それぞれの立場から建設的な意見をいただきました。まず、本校には寮がないことから、京丹波町内の



ホッケー部員 全国から募集
リストアップ 須知大
京都府立須知高等学校
2020

の全世帯に下宿の受入についての協力依頼文書を配布し、現在2軒に協力をいただいている状況を確認しています。

で勤務され、お客さまサービス部長時代のエピソードなどについてもお話しいただきました。その後、プリン配線板製造の株式会社大昌電子に入社され、銀行とは全く違う職種の人事・労働担当の取締役管理本部長としてリーマンショックや東日本大震災で岩手工場が被災するなど数多くの苦労されたお話をいただきました。16年間採用担当者として活動された経験に基づいて企業の選び方や人事面接のポイントなど具体例を示していただきながら高校生にきめ細かく説明していただきました。今後就職する高校生にとっては大変貴重な時間となりました。最後にまとめとして、輝く未来に向かって突き進む皆さんに望むこととして①政治に興味を持ってください。②経済に興味を持ってください。③国際情勢に興味を持ってください。④関西文化を大切にしてください。結びに出身はどこですかと尋ねられたら、「丹波です」と応えましょう。出身高校はと尋ねられたら、「須知高校です。」と応えましょう。

また、京都府外の中学校への募集活動については、ホッケー部のある近畿圏内の公立中学校に所管の教育委員会からの了解を得て全国募集に関する資料を配布しました。隣接する兵庫県丹波篠山市については中学校で説明会を実施しました。さらに、会議では、地元京丹波町内の小中学生のホッケー部員数も今後、減少傾向にあることから、地元京丹波町はもとより近隣の南丹市や亀岡市の中学校に対してホッケー以外の競技からの掘り起こしについても必要であるとの意見もいただきました。現在、京丹波町はもとより、南丹市、亀岡市の各中学校へ出向き、本校ホッケー部の実績等について説明し、その掘り起こしをしているところです。



全国優勝 町長への表敬訪問

京都府立須知高等学校同窓会 平成30(令和元年度) 役員名簿

会長	中西 和之	高17	京丹波町
副会長	片山 俊明	高21	京丹波町
庶務	木久三子	高22	京丹波町
監査	坂本 勇雄	高17	京丹波町
幹事	岩崎 弘一	高26	京丹波町
顧問	永口 茂治	高21	南丹市
顧問	藤田 義幸	高24	京丹波町
顧問	上田 秀男	高8	京丹波町
顧問	横山 義雄	高13	京丹波町
顧問	塩瀬 正明	高19	京丹波町
顧問	長澤 秀典	高18	福知山市
顧問	上田 清和	高26	亀岡市
顧問	田中 宏明	高25	京丹波町
顧問	桐野 正則	高28	京丹波町
顧問	北村 勝	高15	京丹波町
顧問	寺井 行雄	高22	京丹波町
顧問	樹山 静雄	高26	京丹波町
顧問	湊 昌平	高15	京丹波町
顧問	岡 雅之	高24	京丹波町
顧問	一井 公子	高16	京丹波町
顧問	太田 昌和	高39	京丹波町
顧問	吉田 晴美	高23	京丹波町
顧問	上田 隆司	高16	京丹波町
顧問	西田 明範	高22	京丹波町
顧問	森 峯子	高16	京丹波町
顧問	上田 雅信	高23	京丹波町
顧問	庄林 藤夫	高26	京丹波町
顧問	清水淳之助	高22	京丹波町
顧問	谷 碩子	高15	京丹波町
顧問	山内 義昭	高16	京丹波町
顧問	森田 一三	高21	京丹波町
顧問	吉田 正美	高22	南丹市
顧問	塩貝 義久	高27	南丹市
顧問	出野 宏幸	高36	南丹市
顧問	中尾 達也	高33	京丹波町
顧問	江本 正昭	高19	京丹波町
顧問	榎本 藤雄	高19	京丹波町
顧問	福井 隆	高19	京丹波町
顧問	長谷川 靖	高35	南丹市

TEL 0771-811117
(同窓会係) (敬称略)